

【事業所向け】 放課後等デイサービス自己評価表（コンサル） 2023年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	0	人数が多いときは、戸外遊び・室内遊びのグループに分かれて人数が集中しないよう配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3	0	0	基準を満たした職員配置ではあるが、児童個人個人に対応するには十分と言えない時もある。活動を工夫したり、他事業所と協力することで、送迎や活動をより円滑にできるよう工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	0	0	多目的トイレ等を必要とする児童の利用はないが、多目的トイレや手すりについては不整備。
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1	0	0	職員会議にて業務に関する内容についても話をし目標や振り返りも含め検討、改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	0	毎年実施し、検討、改善目標を設定。次年度の事業計画にも反映させている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	0	ホームページ上で公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	0	0	毎年ではないが実施をしたことはある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	虐待防止、応急救護、災害、個人のケース検討などの内部研修を実施し、有期職員も含め、広く職員が参加している。外部で行われる研修も参加できるよう取り組んでいる。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	0	年に一度は面談の設定をし、希望者を対象に実施。日々のやり取りの中でもニーズの拾い上げを丁寧に行い分析し、支援や計画に反映させ実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	0	正規職員を中心に活動設定を立案。利用児童の状況や特性を考え、活動場所や内容を選択し、全体で共有している。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	・大きな流れはなるべく変えずに安定させることを意識しながら、同じことの繰り返しのみにならないよう意識している。 ・色んな公園に行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	0	長期休み中しかできないような活動設定をするなど、活動を工夫している。一日の利用時間を考え、メリハリのある活動設定や短い時間でも満足できる活動ができるよう考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	0	個人の力を伸ばす活動、集団との関りやコミュニケーションをとれる活動など意識しながら作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	0	活動内容や役割分担、児童の状況や支援の方法について支援前に確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われてた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	1	0	・正規職員を中心に振り返りを行い、状況を的確に把握したうえで、必要な支援を検討できるようにしている。 ・送迎で支援終了後には参加できないこともある
	17	日々の支援に関して正しい記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	記録システムを活用し、統一した内容で入力している。また、個人の記録、日にちでの記録などを瞬時に確認することができる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	0	0	0	
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	0	会議参加の必要がある場合は、状況を把握している職員が参加。会議の前後では職員での話し合いを丁寧に行い、情報共有している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	0	基本的に保護者を通したやり取りを中心としている。必要に応じて、直接やり取りできる体制は整えている。下校時の申し送りや様子の確認は積極的に行うようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	1	0	6	0	※「いいえ」→対象がいない

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	1	0	直接のやり取りを必要とする場面が少ないが、必要に応じて積極的に連絡を取り合うなど、情報共有できる体制は整えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	0	5	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0	0	必要に応じて連絡をとっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	5	0	公園での関り程度。交流を目的とした活動設定は行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	2	0	積極的に情報をとることや参加はできていない。声がかかるなどの場合は参加できる体制は整えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	日々の連絡帳や面談、メール、電話でのやり取りなどを通して、児童の状況について伝え合い、共通理解が持てるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	2	0	専門的な知識を持つ職員がいないため実施していない。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	0	契約時の面談等で伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	0	・面談や電話、メールや連絡帳で寄せられる相談に対して、ゆっくりと話を聞けるようや体制を整えている。LINE相談のシステムも整備している。 ・園長が電話で相談を受けている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	0	保護者会の他、保護者懇親会や保護者向け事業所見学会を設定し、保護者同士で話ができる機会を多く作っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	0	苦情受付の体制を整え、事業所の責任者が速やかに対応できるよう整えている。苦情については、苦情解決第三者委員会にて、外部の目を通してしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	0	法人として広報誌の発行、また、ホームページで毎月の活動を写真と文字で発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	0	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	個人を理解し、伝わりやすい方法で情報を伝えられるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	4	0	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	0	・マニュアルの整備はしているが、保護者に対しては必要な情報のみ伝えている。 ・研修がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	年に2回、一週間を通して実施。全児童が参加できるようにしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	0	セルフチェックリスト、虐待防止研修を毎年実施し、高い意識を持てるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	0	身体拘束適正化委員会を設置し、定期的に状況確認、見直しを行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	0	0	仕組みはあるが、実際に指示書が必要な児童の利用はない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1	0	